



# 玉名市立鍋小学校

学級数 8学級

児童数 121名

玉名市小中一貫教育・・・玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています。

岱明中学校区教育目標・・「郷土の誇りをもち、夢に向かって挑戦する児童・生徒の育成」

岱明中学校区でめざす子ども像

○夢を持ち、主体的な学びを身につけた児童・生徒

○郷土に誇りをもち、素直で思いやりのある児童・生徒

○心身ともに健康で、根気強くやり抜く児童・生徒

## 1 鍋小プライド

明治5年4月に鍋南、鍋北、扇崎、沖洲東の4公立小学校を創立、以来、合併と改称を重ねて、鍋小学校となりました。148年の歴史ある学校です。地域には鍋小学校の卒業生も老若男女を問わず多く、地域の皆さんに愛され、支えられている学校です。そんな鍋小には、代々大切にされているものがたくさんあります。

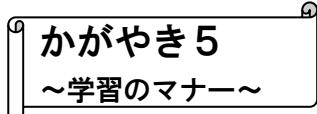
### 【校歌】

現在の鍋小学校の校歌は、昭和39年3月に制定されました。歌詞は地域の方に一般公募され、検討と補作を重ねて完成しました。写真は前庭にある校歌の石碑です。行事や集会のたびに、50年以上歌い継がれてきた校歌です。在校生も、行事や授業などで、いつも大きな声で元気よく歌っています。



### (1) 学習規律を整える

岱明中学校区の共通実践事項である「かがやき5」実践し、学習規律の育成と定着を目指して取組を行っています。



- 1 学習の準備をしておく！
- 2 チャイム着席、黙想スタート！
- 3 あいさつ・返事を元気よくする！
- 4 授業のめあてを確認する！
- 5 目と耳と心で話を聞く！



### (2) あそふじ

○あいさつは、「思いやり」「なかまづくり」の出発点。相手の人の大切にした気持ちのよいあいさつ、自分から進んで明るいあいさつができるようになります。児童生活委員会のあいさつ運動や横断歩道で止まってくださった車の運転手の方にお礼をいうことを大切にしています。

あ・・誰にでも明るく、あいさつをする  
そ・・黙って一生懸命掃除をする。  
ふ・・正しい服装をする。  
じ・・時間を守る

○無言掃除は、学校内の環境をきれいにするだけでなく、豊かな心を培う時間です。「感謝の心・物を大切にする心・気づく心・思いやりの心・がまんする心・正直な心」を大切にしています。



○服装を整え、名札をつけて学校生活をおくり、自分の靴やトイレのスリッパのかかとを揃えて、整えています。自分の持ち物を大切にするだけでなく、ものを大切にすることに取り組んでいます。

### (3) 学校支援ボランティア

登下校見守りのスクールボランティアや、学校支援ボランティアに、今年も54名の地域の方が登録してくださいました。運動会ではお世話になっているスクールボランティアの方々の紹介をして感謝



の気持ちを伝えています。朝夕とも、通学路の危険箇所等に見守りの方がおられ、地域によっては、下校時に毎日お迎えに来てくださいます。児童の安全安心のかなめの皆さんです。

## 2 学校教育目標

郷土に誇りをもち 夢に向かって挑戦する児童の育成

### 経営の基本方針

児童の「夢」の実現のために、全校職員の情熱と誇りをもった「協働」体制のもと、児童一人一人の瞳が輝く、信頼に満ちた学校を「創造」する。

☆ チームワーク（夢・協働・創造）☆

## 3 めざす子ども像

夢と目標（夢）をもち、なかまと共に支え合い励まし合いながら取り組み活動し（協働）、高まり合い喜び合う（創造）瞳輝く子ども～自立型人間～

～夢・協働・創造～  
【校訓】 やさしく・かしこく・たくましく  
心 学び 健康

- 郷土に誇りをもち、素直で思いやりのある子ども（心）
- 夢をもち、主体的な学びを身に付けた子ども（学び）
- 心身ともに健康で、根気強くやり抜く子ども（健康）



【写真1】

## 4 教育活動の実践

### （1）心づくり（豊かな心の育成）

①道徳の授業づくりと道徳教育の充実

【写真1】

②様々な体験活動等を通した「郷土を愛する心」等を育む指導

③規範意識と基本的な生活習慣を身に付ける指導

【写真2】



【写真2】



【写真3】

### （2）学びづくり（確かな学力の育成）

①基本的学習態度の育成

②「主体的・対話的で深い学び」のある授業



【写真5】

【写真3】

③主体的な学習活動と家庭学習の充実及び学習習慣の形成



【写真4】

### （3）健康づくり（健康、安全、体力の向上）

①運動に親しみ体力を高める授業



【写真4】

②心身の保持増進を行うことができる資質能力の育成



③安全に行動できる資質と能力を育てる安全学習

【写真5】

【写真5】

### （4）地域プロジェクト

児童と保護者や地域の方との熟議によって、児童が自分や学校、地域の未来を創造していく経験を通して、児童の自力活動と成長を地域全体で支援していくこうという取組を進めています。



10月と1月には、学校評議員の方、学校支援ボランティアの方、地域学校協働活動推進委員の大野先生、すくすく会の方と計画委員の児童と話し合って、意見を交換します。地域の皆さんに「さわやかな挨拶を交わし、ありがとう（感謝）」を伝えて、自分が、学校が、鍋が大好きな、そして地域に貢献できる子どもたちが育ってくれると期待し、「地域とともにあら信頼される学校づくり」を推進していきます。